

【ブロック塀の標準施工仕様】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	エポパワーシーラー	15kg	—	透明の場合：— 白・グレーの場合： 1.5～3.0ℓ (清水)	0.15～0.40 kg /㎡	1～2	2時間以上	2時間以上	—	ローラー/エアレス
上塗	エクスファイン艶消Ⅱ	20kg	—	1.0～2.0ℓ (清水)	0.30～0.40 kg /㎡	2	5時間以上	—	24時間以上	ローラー/エアレス

【下地調整】

- ・劣化し脆弱な部分及びエフロレッセンス等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・下地のひび割れはUカットシーリング工法、欠損部は充填処理を行って下地を整える。
ただし、充填処理には微弾性フィラーを使用しないこと。
- ・漏水している笠木等の天端は、防水処理を行う。

【施工上の注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上での施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・ウールローラー施工の場合、上塗の回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・エアレス施工の場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限值を目安にしてください。
- ・上記塗布量及び塗回数は下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・塗り継ぎや補修塗り(タッチアップ)を行なう場合は、ローラー又はエアレス等の塗装方法や希釈率の違いにより、色相差・艶ムラが生じることがありますので、作業後に仕上りをご確認ください。
- ・ブロック塀専用塗料ですので、建物の基礎、外壁への施工は避けてください。
- ・弾性系の既存塗膜の場合、ひび割れる危険性がありますので、施工は避けてください。
- ・下地の形状や外部環境によっては、防カビ・防藻機能が十分に発揮されない場合があります。
- ・ブロック塀は吸水性が高いため、雨水を吸い上げて塗膜の浮き・膨れ・剥がれ等を生じる危険性があります。特に地面が土の場合には10cm以上無塗装部分を残して塗布してください。
- ・ハイバイルローラーで塗装して泡が生じた場合、ウーブンローラーで再塗装してください。
- ・凹部や巣穴等に一度に厚く塗装するとひび割れが生じることがあります。

【対応素材】

ブロック塀

【試験結果】

- JIS K 5663 合成樹脂エマルションペイント及びシーラー
「容器の中での状態」「塗装作業性」「低温安定性」「乾燥時間」「塗膜の外観」「隠ぺい率」「耐水性」「耐アルカリ性」「耐洗浄性」「屋外暴露耐候性」全て合格
- JIS A 6909 建築用仕上塗材「可とう性」合格
- 「防かび性」社内試験規格合格(かび抵抗性試験方法:JIS Z 2911)
- 「防藻性」合格 ※社内試験による

【製品データ】

荷姿	20kg
塗布量	0.30～0.40kg /㎡
希釈	1.0～2.0ℓ (清水)
艶	艶消
色	アステック標準色56色



製造・販売元 株式会社アステックペイント

本社 〒811-2233
福岡県福岡市博多区博多駅東3-14-1-9F

astecpaints.jp

- 製品については下記までお問合せください。

ver.202412

EXFINE[®]Ⅱ

エクスファイン艶消Ⅱは、ブロック塀専用の塗料。

落ち着いた美しい仕上がりのため、

建物のイメージを一新できます。

エクスファイン艶消Ⅱ

水性形一液ブロック塀用
けい酸質系上塗材



エクスファイン艶消Ⅱは、ブロック塀専用の塗料。
落ち着いた美しい仕上がりのため、建物のイメージを一新できます。

EXFINEⅡ



ブロック塀の外観は、第一印象を左右します。

ブロック塀は道路に面しているため、最も通行者の目に入りやすい部位です。
そのため、家の外観が綺麗でもブロック塀が汚れていると、家全体の第一印象を悪くしてしまう可能性があります。
だからこそ、外壁・屋根の塗り替えの際には、ブロック塀もあわせて塗り替えることをおすすめします。



色展開

淡彩色を中心とした全56色を揃えております。家の雰囲気に合わせて色をお選びください。

※あくまでサンプルの色味です。実際の色味とは異なりますので、必ずアステック標準色見本帳やアステック大判色見本帳をご確認ください。



エクスファイン艶消Ⅱの5つの特徴

艶消

艶消塗料のため、光沢を抑えた落ち着いた仕上がりになります。

光沢度の低いエクスファイン艶消Ⅱの方が、塗膜表面の光沢が少なく落ち着いた仕上がりになります。



エクスファイン艶消Ⅱ 外壁用艶消塗料

※写真はあくまでイメージです。光の当たり方によって艶感が異なって見える場合があります。

鏡面光沢度

	エクスファイン艶消Ⅱ	一般艶消塗料
光沢度	約3%	約80%

一定の角度からの光の反射量によって塗膜表面の光沢度を測る「鏡面光沢度」の試験において、エクスファイン艶消Ⅱは、光沢度が抑えられていることがわかります。

■光沢度参考値

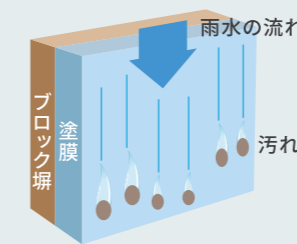
	光沢度
艶消	70%以上
7分艶	57~63%
5分艶	32~38%
3分艶	12~18%
艶消	5%以下

低汚染性

けい酸質結合材を用いており、塗膜の親水性や硬度が高いため、長期間にわたる美観の保持に役立ちます。

低汚染性が高い理由 ① 親水性

親水性が高いため、雨水が塗膜と汚れの間に入り込み、汚れを洗い流します。



低汚染性が高い理由 ② 高硬度

エクスファイン艶消Ⅱは、高い硬度を有しています。

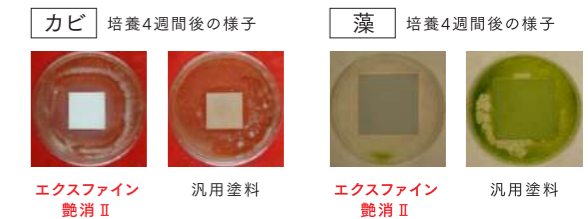
	エクスファイン艶消Ⅱ	水系フッ素樹脂塗料
23°C	2H	3B

鉛筆引っかき硬度

6B→5B→4B→3B→2B→B→HB→F→H→**2H**→3H
[軟] → [硬]

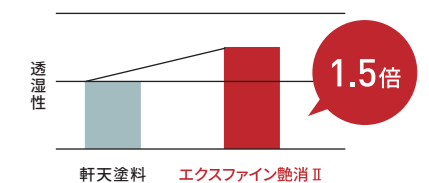
防カビ・防藻性

エクスファイン艶消Ⅱは「かび抵抗性試験」及び「藻抵抗性試験(社内試験による)」に合格。カビや藻の発生を抑制し、美観の保持に貢献します。



透湿性

ブロック塀は、あらゆるところから水を吸収するため、透湿性の高い塗料を使わなければ、塗装後に、膨れや剥離などが発生してしまいます。エクスファイン艶消Ⅱは、高い透湿性が求められる軒天塗料と比較して約1.5倍の透湿性を持っているため、膨れや剥離などが発生しにくいといえます。



高耐候性

期待耐用年数10~12年

長期間にわたってブロック塀を紫外線・雨などの劣化要因から保護します。

※あくまで試験環境下における実測値であり、耐候性を保証するものではありません。実際の自然ばく露環境下では、下地の状態、施工方法、気象条件等により耐候性は異なる場合があります。